

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室でも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『ぼうはん
一生つかえる！
おまもりルールえほん』
絵/the rocket gold star
出版社/学研プラス

もし、暗い場所や危ない場所で怪しい人が近づいてきたら？子どもたちに身につけてほしい自分自身の守り方を教えてくれるシリーズ第2弾。



『かみなり』
協力/音羽電機工業
「雷写真コンテスト」
出版社/ポプラ社

ゴロゴロと大きな音を立てて光る“雷”。雷が激しく光る瞬間をとらえた迫力ある写真絵本です。雷の疑問に答えるQRコード付き。



『じゃーんけん』
作/山岡 ひかる
出版社/アリス館

とりさん、うさぎさん、りすさん、ワニさんたちと“じゃーんけん！”
さあ、いろんな動物たちとじゃんけんをして遊ぼう！



『山を買ったぞ！
キャンプするぞ！』
著/栗原 紀行
出版社/実業之日本社

自ら山を探した12人の事例を紹介しながら、山を購入するまでの苦労話や維持管理など、盛りだくさんの1冊です。



『発酵ある台所』
料理/丸瀬 由香里
写真/森本 菜穂子
出版社/亜紀書房

自家製の発酵調味料で毎日の料理がもっと豊かに、ラクになる。塩麹、醤油麹、味噌、甘酒、豆造といった麹を使った発酵調味料の作り方と、それらを使ったレシピを、季節ごとに紹介しています。



『よって件のごとし』
著/宮部 みゆき
出版社/KADOKAWA

神田の袋物屋・三島屋で行われている風変わりな百物語だが、2代目の聞き手・富次郎はおちかの出産を目前に休止することに。最後の語り手の夫婦が語るのは…三島屋変調百物語シリーズ最新刊です。



各図書館・図書室連絡先

- 平戸図書館 ☎22-4017
- 永田記念図書館 ☎22-9182
- 南部公民館図書室 ☎22-9191
- 生月図書室 ☎22-9202
- 田平町中央公民館図書室 ☎22-9211
- 大島村公民館図書室 ☎55-2511

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
携帯電話からQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	14日(水)・28日(水) 午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」(COLAS平戸ホール) 『スキャンダル』(アメリカ・カナダ:109分)	10日(土)・22日(木) 午後2時～
	ライブラリーコンサート(平戸図書館) ■今回のコンサートは、竹友会のみなさんによる尺八の演奏です。(予定)	24日(土) 午後7時～
永田記念図書館	おはなし会 ※随時変更することがあります。	毎週土曜 午後2時～

今月の休館日 永田記念図書館：6日(火)、13日(火)、20日(火)、25日(日)、27日(火)

9月のイベント情報などをピックアップ!

まち協トピックス

9月のまち協の取り組みにご注目ください!

☎ 総務課まちづくり推進班 ☎22-9100

◆志々伎山勉強会

とき 9月9日(金)午後7時～

ところ 宮の浦漁民研修センター

志々伎神社や野子地区について、地元の人も知らない歴史や伝承などを楽しく学びます。

※事前申し込みは不要です。

野子地区まちづくり運営協議会 ☎27-1613

◆第2回マタニティカフェ

とき 9月10日(土)午前10時30分～11時30分

ところ 和く話く交流館

妊婦さんやその家族などを対象に、常温保存が可能で防災用品としても便利な「液体ミルク体験」を行います。

※事前申し込みが必要です。

NPO法人山田・館浦地区まちづくり運営協議会 ☎53-1550

◆中南部まち協親善「グラウンドゴルフ大会」

とき 9月23日(金)午前9時～ ※雨天順延

ところ 志々伎浦漁港公園

参加者を募集します(中南部在住者先着80人、参加費1人500円)。9月9日(金)までに各まちづくり運営協議会へお申し込みください。

志々伎地区まちづくり運営協議会 ☎29-1510

◆第4回たくしま塾「防災まつり」

とき 9月24日(土)午前9時30分～午後0時30分

ところ 度島小中学校体育館

講師による防災に関する学習会を開催するほか、中学生が災害をイメージして作成した、度島オリジナルクロスロードを使って、地域の「もしも」について考えます。

NPO法人度島地区まちづくり運営協議会 ☎25-2501

※掲載しているイベントの開催については、変更となる場合があります。

「古写真」から見る平戸の記憶遺産 vol.42

☎ 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143

御館の馬場

右側の松浦史料博物館の高い石垣とその下の屋敷地、そして御館の馬場を挟んで広がる、かつて常磐町、福寿町と呼ばれた旧城下の一角の風景。切妻平入の家屋が整然と立ち並んでいます。

平戸の旧城下地区は、建物の配置や小さな路地に至るまで、基本的に江戸時代の町割りをよく残しています。残念ながら、家屋などの構造物は、一部は現代風の建物に建て替えられたり、空き地が目立つようになってきましたが、現在でも江戸時代の地図を見ながら街歩きをすることができます。

平戸に限らず、都市部や棚田といった、いわゆる日本的な景観は、昭和30年代の高度経済成長期と呼ばれる時代を境に、良し悪しを別として急激にその姿を変えていきます。



昭和30年ごろの御館の馬場周辺



現在の御館の馬場周辺